



一中だより

学校教育目標
自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

開校記念日に思う

校長 岡島 一恵

新緑がまぶしい5月となりました。入学式・始業式からの1ヶ月は、何だかあっという間だったように思います。それぞれの学級が学校教育目標、学年目標の下、自分たちの学級目標を掲げ、その達成に向け、1年間の航海をスタートさせた4月。これから1年間この仲間と共に過ごす航海の日々は、穏やかな波の日もあれば、時には荒波に揉まれることもあるかもしれません。学級目標を決めたその意味を胸に、共に協力し合って乗り越え、学級の仲間との絆を深め、皆にとって居心地のよい温かな学級を、皆でつくってほしいと思っています。



1年生学年集会での学級目標発表の様子

さて、今月12日は、川越第一中学校の開校記念日です。本校は、今年度80年目を迎えます。校長室に保管されている各記念誌のページをめくると、終戦後の昭和22年に開校し、戦後の混乱と貧困の中で、理想の実現に向け渾身の一步を踏み出して以来、地域、保護者の方々、お勤めされた教職員、そして、1万5千人を超える卒業生たちの多大な労苦や努力の積み重ねにより、川越第一中学校の誇り高い歴史と伝統が築かれ、今に伝えられてきたことが分かります。昭和32年に制定された校歌に謳われている歌詞からもその歴史の重さを感じられ、また、強弱やリズムの変化に富んだ曲調は強い向上心を、朗々と歌い上げる最後の部分は愛校心の深さを表現しているようで、歌うたびごとに次代へ引き継ぐとともに、更に発展させていく責務を感じ、背筋がピンっと伸びる思いになります。

開校記念日のあるこの月に本校の歴史や関わってこられた方々の川越第一中学校への思いや紡いできた歴史と伝統について考える機会とし、川越第一中学校の一員として、自分には何ができるか、学校教育目標「自主」の精神の下、主体的に考え行動できる生徒を育ててまいりたいと思っています。

川越第一中学校 校歌

作詞 下山 懋
作曲 仲 喜子

1

雲行くかぎり果て遠く
萌える緑のおさし野に
力を込めて地を拓き
偉人傑士を育んだ

この里の誇りを承けて
われらあり 川越一中

2

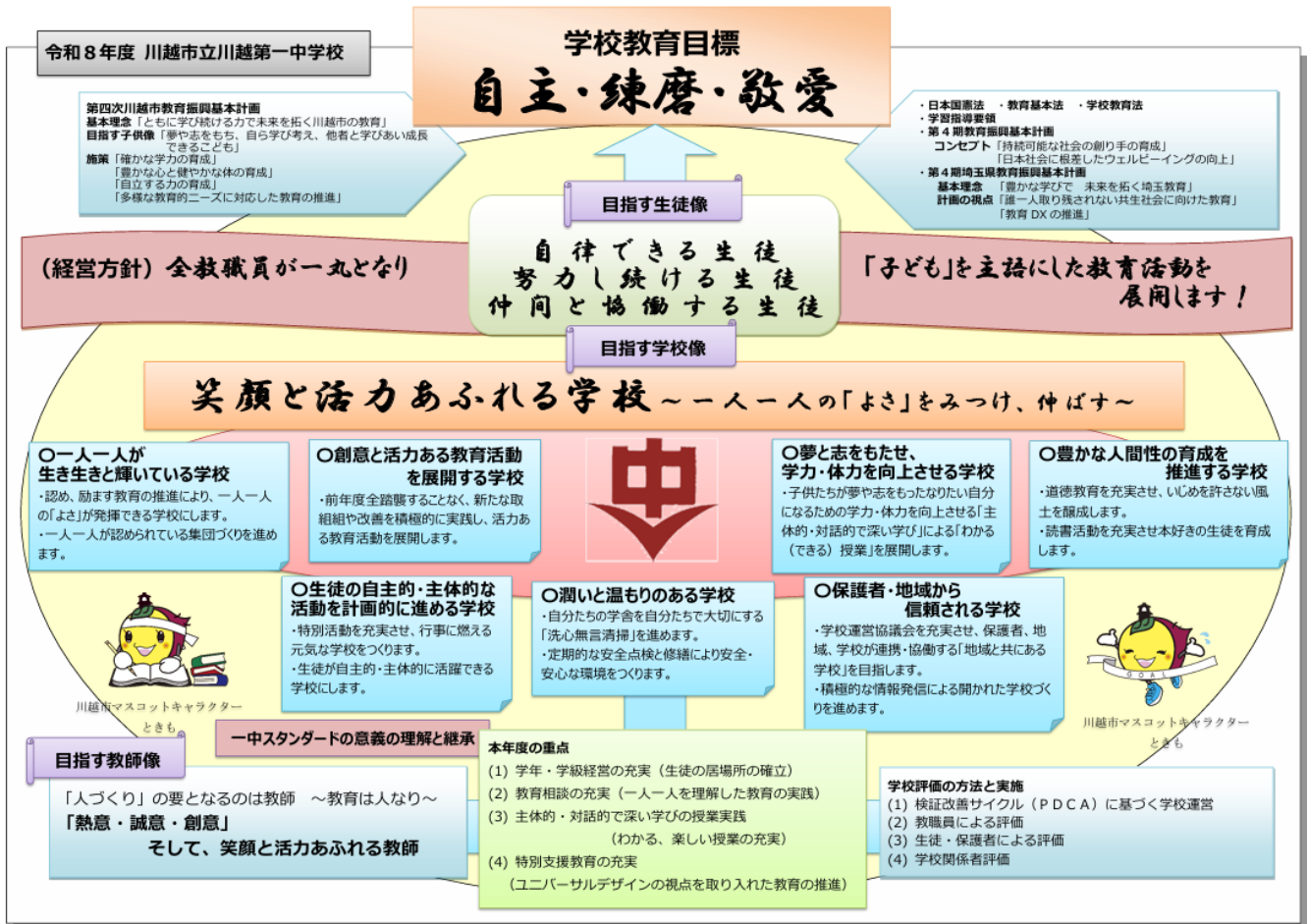
古城の春の花の影
うつる栄枯の諭しあり
明星かかる老杉に
真理に生きよと鐘ひびく

この窓に光を求め
われら立つ 川越一中

3

翔れよともに雁がねの
若いつばさを羽ばたけば
かがやく希望のよろこびに
われらの世紀は開かれる
この国の使命を胸に
いまぞ行く 川越一中

※4月23日に学校運営協議会が開かれ、本校の令和8年度学校経営方針について御承認いただきました。下の図はそれをデザインしたものです。



1年校外学習



入学して3日目に実施された1年校外学習。ファシリテーターさん中心に、各学級ごと色々なレクリエーションを行い親睦を深めました。



楽器のふるさと納税で楽器のご寄付をいただいたことについて、吹奏楽部がTBSの取材を受け、「ひるおび」のニュースで放送されました。

体育祭に向けて...



団抽選



「進華」というスローガンの下、団の組合せと色が抽選で決まり、いよいよ本格的に体育祭の練習が始まります。1日には、結団式が実施され、生徒も先生も体育祭に向けて闘志を燃やしています。



今年度、本校は「自転車マナーアップ推進校」として川越警察署から指定を受けました。自転車の安全な運転を推進していきます。



生徒朝会



結団式

